



これだけは押さえておきたい！

産学等と学校の 連携ガイドライン

千代田区教育委員会

P1 1.はじめに

P5 2.連携のパターン

P15 3.連携の進め方

P21 4.連携フロー（出前授業）

P30 5.連携フロー（職場訪問）

P36 6.連携フロー（職場体験）

P42 7.連携フロー（その他の活動支援）

P45 8.チェックシート・問合せ先

更新履歴：Ver.1.1.1（2025年3月）

1.はじめに ～連携いただける皆様へ～



千代田区教育委員会
教育長 堀米 孝尚

千代田区では、学校教育を学校内に閉じず、地域の皆様（企業・研究機関・公的機関等）と連携しながら、教育活動に取り組みたいと考えています。

一方で、昨今はビジネスにおけるCSR活動への関心の高まりから、学校連携に関するお問い合わせが増えている状況です。その中で、学校側と企業様等の間でのミスマッチが生じていることも実態です。

そうした課題を解消し、次世代の人材を育成するという共通の目標に向けて、地域の皆様と学校のもつリソースをうまくもち寄りつつ、効果的な連携を実現していきたいと考えています。

連携に際して、企業等の方々から「連携をしたいが、進め方がよく分からない」というお声をいただくことも多いため、基本的な情報や段取りを、本資料にまとめましたのでご活用ください。

学校現場の声



- ・ 専門的なお話を聞いたり体験したりすることが、質の高い学びに繋がるので、とてもよいことだと思います。
- ・ 地域や学校外部の方との関わることで、子ども自身、多くの学びを得ることができていました。



- ・ 社会の最前線で活動をされる地域の皆様が、日々感じられていること、現場で起きていることなどに、授業内容が沿っているか不安な面もあります。
- ・ 出前授業や実際の職場への訪問を通じて、現場で働く方の話を聞くことなどに興味があります。
- ・ 地域にリソースがたくさんあるのに活用できていないと感じています。子どもたちに将来への見通しをもたせるためにも、千代田だからできることをたくさんさせてもらいたいと考えています。

1.はじめに ～主なキーワード～



本資料では、以下の用語を用いています。

産学等

企業や、大学等の研究機関、行政組織や大使館などの公的機関等を指します。
(産官学と概ね同義とお捉えください。)

学校

千代田区立の11の小学校(8校)・中学校(2校)・中等教育学校(1校)を指します。

コーディネーター

学校と産学等の間に入り「事前調整や企画等の連携活動のサポート」を行う人材を指します。

連携のイメージ



1.はじめに ~主なキーワード~



産学等と学校が連携する際の「パターン」としては、以下のような形態が考えられます。
どの形態で連携が可能でしょうか？

①出前授業

産学等の社員様等に学校へとお越しいただき、ゲストティーチャーとして、仕事を通じて得た経験や思い等を踏まえた授業をしていただくものです。

②職場訪問

職場（事業所・工場・現場等）へと、クラス単位や学年単位などで子どもたちが訪問し、説明を行っていただいたり、見学や体験をさせていただいたりする活動です。

③職場体験

少人数の中学校・中等教育学校の2年生が企業様の職場へと原則3日間受け入れていただき、仕事について説明いただいたり、職業体験の活動をご提供いただくものです。

④その他の活動支援

ヒト・モノ・カネ・情報などのリソースを、①②③以外の場面でご提供いただくものです。
例1：部活動支援（企業様等からの、小学校のマーチングバンドや、中学校・中等教育学校の部活動への指導者派遣、施設（活動場所）の貸与や用具の提供、財政支援等。）
例2：面接練習の支援（進学や就職での面接練習の相手役になっていただく活動。）
例3：ICT機器の使い方サポート（授業でのデジタル機器の使い方をサポートいただく活動）

1. はじめに ～ F A Q ～



連携に際して、よくいただくご質問についてご回答いたします。

Q. 物品費・謝金が出るのでしょうか？

A. 原則、無償(物品費・謝金等の費用支払なし)での連携をお願いいたします。

Q. 関心がある場合、どこに連絡をしたらよいのでしょうか？

A. 巻末の連絡先(千代田区教育委員会等)にご連絡ください。

Q. 連携依頼があった場合、全てに対応しないといけないのでしょうか？

A. ご都合が許す場合においてのみ、ご対応いただくことで問題ありません。

Q. 保険加入が必要になりますか？

A. 本資料で想定しているような、「学校教育の一環としての活動」である限りは、千代田区や学校側で、保険加入をしていますのでご加入不要です。

Q. 連携依頼の連絡はどこから来ますか？

A. 主に3パターンが想定され、①学校の教員、②コーディネーター(仮称)、③千代田区教育委員会の職員のいずれかより、連携の相談をさせていただきます。

2. 連携のパターン

本章の概要

- 4種の連携パターンについて、概要を記載しています。
- 連携の例・イメージを掲載しています。

①出前授業

②職場訪問

③職場体験

④その他の活動支援

2. 連携のパターン ～ 出前授業 ～

①出前授業

②職場訪問

③職場体験

④その他の活動支援

産学等の社員様等に学校へとお越しいただき、ゲストティーチャーとして、仕事を通じて得た経験や思い等を踏まえた授業をしていただくものです。

- 千代田区の小・中学校にお越しいただき、「特定の教科」や「総合的な学習（探究）の時間」などの授業に携わっていただきます。
- 授業時間は1時限あたり、小学校45分、中学校50分となっています。
- 授業のほぼ全ての進行・ハンドリングをしていただくことが多いものの、教員と分担しながら授業の一部を担当していただく方法（説明部分のみ、子どもの意見に対するフィードバックコメント等）もあります。



2. 連携のパターン ～ 出前授業 ～

①出前授業

②職場訪問

③職場体験

④その他の活動支援

取り組みの一例を以下に示します。

【①出前授業】石油と地球の未来

該当する領域: 2. 環境・自然



【連携のご相談・申込はこちら】

名称: ENEOS Xplora株式会社
住所: 〒100-8163 東京都千代田区大手町1-1-2 ENEOSビル
電話番号: 03-6257-6000
*ENEOS Xplora総務部 担当:柳田までご連絡ください。
メールアドレス: yanagida.sayaka@eneos.com
参考情報: https://www.eneos-xplora.com/newsrelease/upload_files/20240926JP.pdf

1 対象教科・学年等の例	社会(小学5、6年・工業、環境) 総合(小学5、6年)
2 内容例	(1)石油・天然ガスってなんだろう？ (2)石油・天然ガスはどこから来るの？ (3)石油・天然ガスの課題～カーボンニュートラルの取り組み (4)自分ができるカーボンニュートラルへの行動を考える (5)まとめ (6)質疑応答、アンケート回答 ・クイズを織り交ぜながら、楽しく学ぶことができます。 ・実際の原油サンプルや岩石をお持ちします。
3 講師	ENEOS Xplora株式会社社員
4 形式	所要時間:1時限(45分) クラス単位、学年単位ともに対応可能です。
5 持ち物等	筆記用具、プロジェクター(HDMI接続できるものが好ましい。)
6 実施時期	通年可能。ご相談ください。
7 実施事例	三鷹市立第五小学校、平塚市立旭小学校他
8 その他	内容や形式等、ニーズに合う形で柔軟に対応可能です。 お気軽にご相談ください。

2. 連携のパターン ～ 職場訪問 ～

①出前授業

②職場訪問

③職場体験

④その他の活動支援

職場（事業所・工場・現場等）へと、クラス単位や学年単位などで子どもたちが訪問し、説明を行っていただいたり、見学や体験をさせていただいたりする活動です。

- 千代田区の小・中学生が、「特定の教科」や「総合的な学習（探究）の時間」などの一環として職場の見学等をさせていただきます。
- 訪問人数は、学年単位（2～4クラス）での訪問をご相談するケースもあれば、人数を絞り込んだでの訪問を相談するケースもあります。
- 訪問する子どもの誘導管理などができるよう、複数名の教員が同行いたします。



2. 連携のパターン ～ 職場訪問 ～

①出前授業

②職場訪問

③職場体験

④その他の活動支援

取り組みの一例を以下に示します。

【②職場訪問】法政大学のSDGsを知ろう

該当する領域:17. その他(SDGs)



【連携のご相談・申込はこちら】

大学名: 法政大学(総長室付教学企画室)
住所: 東京都千代田区富士見2-17-1
電話番号: 3264-9930
メールアドレス: kyogaku@hosei.ac.jp
参考情報: <https://www.hosei.ac.jp/sdgs/>

1 対象教科・学年等の例	中学生等
2 内容例	(1) 法政大学のSDGsの取組みの紹介 学び 研究 社会貢献 イベント … (2) SDGs推進を目指して行う大学の仕事の紹介 (3) グループでの意見交換 テーマ例①: SDGsの理解 ・学校生活や日常生活で困っていることは? ・それに対し自分達が主体的にできることは? テーマ例②: SDGsの仕事の発見・理解 ・大学(教育機関)が行うSDGsの意味は? ・SDGs推進を担う人に必要なモノは? (4) 質疑応答 ✓ SDGs達成に向けた大学の取組みを知る ✓ 取組みを推進するために行う仕事と職場を知る
3 講師	法政大学職員(大学生のサポートもあり)
4 形式	クラス単位(30人程度まで)。所要時間1～2時間。
5 持ち物等	筆記用具
6 実施時期	—
7 実施事例	四日市市立西朝明中学校 他
8 その他	—

34

2. 連携のパターン ～ 職場体験 ～

①出前授業

②職場訪問

③職場体験

④その他の活動支援

少人数の中学校の生徒が企業様の職場へと3日間受け入れていただき、仕事について説明いただいたり、職業体験の活動をご提供いただくものです。

- 千代田区の職場体験においては、中学校2年生が、3日間、事業所に訪問させていただきます。
- 座学、見学、体験などを組み合わせたプログラムをご提供いただいております。
(一般に、大学生向けに行われているインターンシップを、中学生向けへとより簡易にアレンジいただくイメージで構いません。)
- 企業様の受け入れ可能人数や、子どもの希望者数に応じて、1事業者様あたり概ね1～5人を受け入れていただいています。

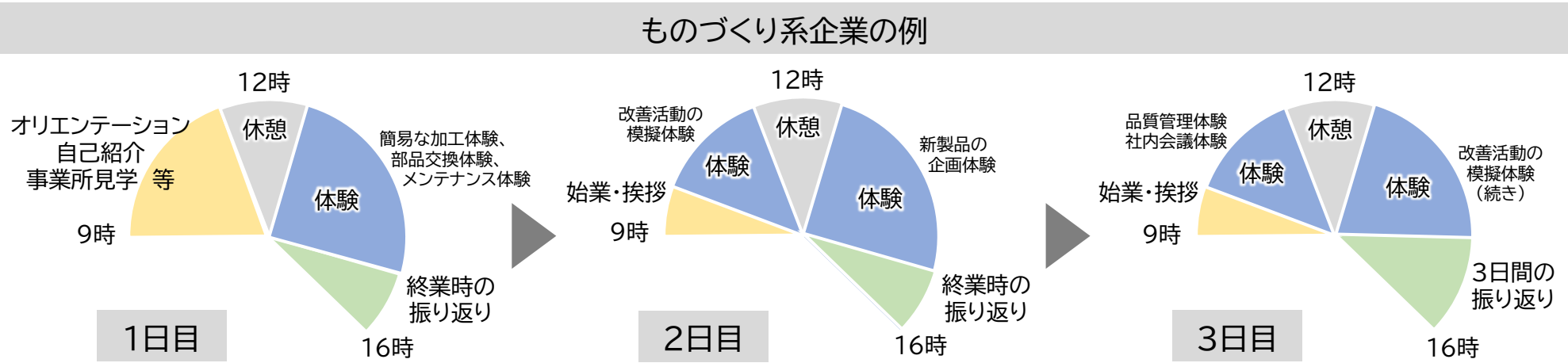


千代田区の職場体験は、全ての中学校2年生が参加している関係で、受け入れ先が不足する傾向にあるため、ぜひとも連携をご検討いただくと幸いです。

2. 連携のパターン ～ 職場体験 ～

- ①出前授業
- ②職場訪問
- ③職場体験
- ④その他の活動支援

取り組み（タイムスケジュール）の一例を以下に示します。



千代田区教育委員会「学校と企業等の連携プログラム」にも事例があるため、ご参照ください。

【③職場体験】学校教材会社での体験研修

該当する領域: 14. キャリア・職業

1 内容例

- <実施例1> 出版されている学校教材において中学生が教材を解き、生徒から教材の分かりやすさや難しさなど意見・要望を出して頂く研修会
- <実施例2> 学校教材の注文を手続きする入力業務の研修会

2 形式

2～3日間で1日の上履3人程度

3 持ち物等

昼食、筆記用具

4 実施時期

3、4月を除く月(要相談)

5 実施事例

東京都立両国高等学校附属中学校 他

6 その他

教材の歴史や、学校に届けられるまで当社一帯が日々努力しており、また生徒や先生も知る、という機会にも是非繋げて頂ければと思います。

【連携のご相談・申込はこちら】

会社名: 株式会社 教育同人社

住所: 〒170-0013 東京都葛飾区東船場 4-21-1

アウルタワー 2F

電話番号: 03-3971-5156

メールアドレス: hiroki@djn.co.jp (営業本部 徳重 他)

参考情報: <https://www.djn.co.jp>

【③職場体験】大学職員の世界を覗いてみよう！

該当する領域: 14. キャリア・職業

1 内容例

- (1) オリエンテーション
- ※ 本学館や大学職員について楽しく知ってもらえるよう、クイズなどを取り入れた双方向の対話形式で下記の内容を説明いたします。
- ・ 学校法人上智学園について (大学と学校法人の違い等)
- ・ 職員として大学で働くことの意義について
- (2) 各部署での職場体験
- ※ 各日1部署で体験していただく予定です。(下記一例)
- ・ 本学学生向けイベントの企画・立案
- ・ 学外向けイベント・教育プログラムの広報物の作成
- ・ 本学の歴史や多様性に配慮した取り組みを体験してもらう上で、体験生自身の通う学校でのサステナビリティについて考え、提案
- ・ 専任職員・学生職員との交流

2 形式

上履5人

3 持ち物等

筆記用具・可能であればタブレット

4 実施時期

実施時期は要相談(3～5月は不可)、最大3日間

5 実施事例

千代田区立麹町中学校

6 その他

学事日程や体験部署の繁忙期により、お断りさせていただく場合がございます。また、職場体験に係る経費の負担は各学校様にてお願いいたします。

【連携のご相談・申込はこちら】

名称: 学校法人上智学院総務局ソフィア連携室

住所: 東京都千代田区紀尾井町7-1

電話番号: 03-3238-3198

メールアドレス: sophia2013-co@sophia.ac.jp

2. 連携のパターン ～ その他の活動支援～

①出前授業

②職場訪問

③職場体験

④その他の活動支援

ヒト・モノ・情報などのリソースを、①②③以外の場面でご提供いただくものです。

- お持ちのスキル・経験を提供いただく方法
 - 例：部活動における合同練習や合同イベント
 - 例：面接練習の支援
 - 例：ICT機器の使い方サポート
- モノ（物品提供や施設貸与）を提供いただく方法
 - 例：学習教材・コンテンツの提供
 - 例：余剰部材の提供
 - 例：試供品の提供
 - 例：会議室・研修施設・体育施設などの貸与
- その他（資金面の支援、広報活動協力 等）



2. 連携のパターン ～ その他の活動支援～

①出前授業

②職場訪問

③職場体験

④その他の活動支援

取り組みの一例を以下に示します。

【④その他支援】一緒に演奏しよう！（部活動交流会）

該当する領域：9. アート



【連携のご相談・申込はこちら】

名称：日本歯科大学 生命歯学部
住所：東京都千代田区富士見1-9-20
電話番号：03-3261-8311
メールアドレス：shomubu@tky.ndu.ac.jp
参考情報：<https://www.tky.ndu.ac.jp/>

1 内容例

本学音楽系クラブ所属学生と
中学音楽系部活動生徒との演奏交流会
(例：アンサンブル部)

※大学のクラブ活動で楽器演奏を継続している学生と
交流することで、現在部活動で行っていることが
生涯を通じて人生を彩る趣味となる得ることを
生徒に知ってもらうことが目的。

2 形式

上限10人程度

3 持ち物等

演奏楽器については参加者自身が持参。

4 実施時期

応相談(本学学生の予定による。)

5 実施事例

—

6 その他

—

2. 連携のパターン ～ 各連携のイメージ～

業種別に連携イメージの一例をご紹介します。

	A株式会社 (製造業)	B商店 (小売業)	C大学 (研究開発関係)	D有限会社 (IT・情報系)
①出前 授業 →右記の詳細P27	環境対策に配慮した ものづくりについて	外国人旅行客との コミュニケーション について	研究活動で求められる アイデア発想の スキル・習慣	こんなときどうする？ ～共生社会に必要な サービスデザイン～
②職場 訪問 →右記の詳細P33	工場見学と 簡易意見交換会	店舗見学と 顧客観察	防災拠点としての 大学施設見学	IT業務の 模擬体験
③職場 体験 →右記の詳細P39	執務室見学 工場見学 改良検討会体験 等	店舗見学 軽作業体験 接客体験 等	研究室見学 研究活動の模擬体験 論文発表体験 等	執務室見学 現場視察 IT業務の実体験 等
④その他 の活動 支援	廃棄部材の提供 社内部活動との 交流練習	進学・就職に向けた 面接練習の支援	空いている講義室を 発表会等の 会場として貸与	知り合いへの 中古楽器の 寄付呼びかけ

3. 連携の進め方

本章の概要

- 学校と連携した活動を展開するまでの、
主な準備・検討事項を、下記 3 ステップに
分けて概説しています。

①なぜやる？

所属組織にとって
どのような実施の
目的・メリットが
ある？

②どう備える？

どのように自組織
としての活動計画
を立てていく？

③どうやる？

どのようにプログ
ラムを実行してい
く？

3. 連携の進め方 ～ 1 / 3 ～

学校と連携した活動を展開するまでのステップとして、以下の対応が考えられます。

①なぜやる？

所属組織にとってどのような実施の目的・メリットがある？

②どう備える？

どのように自組織としての活動計画を立てていく？

③どうやる？

どのようにプログラムを実行していく？

継続的な活動とするためにも、実施意義・費用対効果について、自組織内で共通認識を持ちましょう。

モチベーション面

- ・次世代人材の育成への貢献
- ・子どもたちの成長に携わるやりがい
- ・日常業務とは異なる経験
- ・自組織や自身のスキル・経験の社会還元

ブランド・広報面

IR面

マーケティング面

組織・人事面

- ・子どもたちとの交流を通じ、自社の印象や感想についてフィードバックを受けることで、従業員の自己肯定感・自社肯定感が向上する意義（インナーブランディングの意義）
- ・社会貢献活動の実績作ることができ、ステークホルダーに対して自社をPRできる実施意義
→CSRやSDGsの観点で、社会貢献に関するレポートができる意義
→自社のイメージ向上や、理解度向上につながる意義
→自社の話題作りにつながる意義
- ・子どもたち（若い世代）の感性・感覚に接することができる意義
- ・子どもたちの意見を収集できる意義（テストマーケティングができる実施意義）
- ・教育や学びに関する知識や経験を得ることを通じた、自社の従業員育成につながる実施意義
- ・事業運営上、社会貢献活動を一程度行うことが基本方針・社風となっており、教育活動に取り組み領域を設定

3. 連携の進め方 ～ 2/3 ～

学校と連携した活動を展開するまでのステップとして、以下の対応が考えられます。

①なぜやる？

どのような実施の
目的・メリットがある？

②どう備える？

どのように自組織としての
活動計画を立てていく？

③どうやる？

どのようにプログラムを
実行していく？

以下のチェック項目を参考に、連携に向けて、一步踏み出してみましょう。

初挑戦に
近い場合

- ☐ まずは1つ、教育コンテンツを作るべく、組織内でアイデア会議をしましょう。
- ☐ 他社の実施例・教材例も適宜参照してみましょう。
- ☐ 自社ではどのような事を伝達できるか、キーワードで考えていきましょう。現在進行形で取り組んでいるプロジェクトを取り上げていただくことや、自社HPで既に発信している内容（事業内容、自社の特徴、歴史、コラム等）を題材にする方法もあります。

2回目
以降の
場合

- ☐ 組織として、実施イメージやノウハウが定着するよう、同行・記録化・マニュアル化などをご検討ください。
- ☐ 異なる ①学年・②教科・③形態（出前授業・職場訪問・職場体験・部活動支援）でも実施できないか、ご検討いただけますと幸いです。
- ☐ プログラムのちょっとした工夫・改善（子どもの心をつかむ導入・エピソード・場回しの在り方等）をご検討ください。

3. 連携の進め方 ～ 3/3 ～

学校と連携した活動を展開するまでのステップとして、以下の対応が考えられます。

①なぜやる？

どのような実施の
目的・メリットがある？

②どう備える？

どのように自組織としての
活動計画を立てていく？

③どうやる？

どのようにプログラムを
実行していく？



連携の内容を詰めていく際、以下の項目を例に、事前調整をしたいと考えています。

- ☐ 日程・時間帯、場所、対象学年、クラス数、子どもの人数について
 - ☐ 実施目的・学ばせたいこと・教員や学校の想いについて
 - ☐ 連携する際のテーマ、内容について
 - ☐ ここまでに何を学んできたのかについて、どんな活動をしてきたのかについて
 - ☐ 事前・当日の、双方の人員体制について
 - ☐ 会場にある設備・機器について、持ち込むべき設備・機器について
 - ☐ 資料の送付タイミング、配布方法について
 - ☐ 緊急連絡先を含めた、連絡方法について
 - ☐ 訪問方法・移動方法、駐車場有無、待ち合わせ場所について
 - ☐ 実施した活動情報の取扱いについて
- 等

3. 連携の進め方 ～ 学校・教員の想い ～

学校と連携した活動を展開するまでのステップとして、以下の対応が考えられます。

①なぜやる？

どのような実施の
目的・メリットがある？

②どう備える？

どのように自組織としての
活動計画を立てていく？

③どうやる？

どのようにプログラムを
実行していく？



教育面からは、以下のような観点にも配慮し、お話しいただく内容や活動内容を少し調整・ご配慮いただけると、とても嬉しいです。

- ・教科書に沿った学校教育では知ることのできない、社会の最前線の知識・情報に触れられるかどうか
- ・子どもたちの「わくわく」・「すごい」・「もっと知りたい」などの気持ちが醸成されそうか
- ・社会の現場における「実際のものの考え方」に触れることで、授業での学びが活かした知識となり、考える力（思考力・判断力）が高度になっていくかどうか
- ・見知らぬ関係の人との間で、伝える力やコミュニケーションの能力が養われるかどうか
- ・自分が考えたアイデアや取り組んだことに対して、学校の先生以外の、普段は接することのない大人（その道のプロ）から意見やコメントをもらうなどして、子どもたちが大きな刺激を受け、さらに学びを展開していくモチベーションとなるかどうか

質の高い
教育の実現



4. 連携フロー

本章の概要

- 産学等と学校の4つの連携パターン別に、連携の流れやポイントを解説しています。

①出前授業

②職場訪問

③職場体験

④その他の
活動支援

出前授業のポイント

- まず第 1 に「分かりやすい単語・言い回し」で話しましょう。
- 講師が伝えるばかり（一方向型）の授業にならないよう、プログラムのタイムスケジュールを区切りつつ授業の構成を考えましょう。
- 学校教育では知ることのできない、社会のリアルな知識・情報を共有しましょう。
- 子どもたちとの直接的な対話に、恐れずチャレンジしましょう。



4. 連携フロー（出前授業） ～ 2/9 ～

出前授業を実施するまでに、以下のようなタスクが考えられます。

①企画初期段階

②準備・調整段階

③実施段階

- どのような授業を実施できそうか、洗い出しをしましょう。
- 自社の取り組みを、右記の「教科」や「分野」の観点で捉えてみましょう。

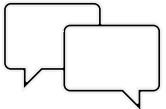


出前授業の要請後……

- 「授業の目的・目標・学ばせたいこと」や、「教員や学校の想い」を確認しましょう。
- ここまでに何を学んできたのかや、どんな活動をしてきたのかについて確認をしましょう。
- 実施日時と併せて、自社の体制(当日の対応可能人数等)を確認しましょう。
- 会場にある設備・機器や、持ち込むべき設備・機器について確認しましょう。

分野	教科	総合的な学習 (探究)の時間
社会	社会	
外国語	英語	
人文	国語	
	道徳	
	芸術	
生活	生活・家庭科	
	保健・体育	
理工	情報	
	技術科・図工	
	理科	
	算数・数学	

【ヒント】
「〇〇が関係する、日本の小学校・中学校における教科・単元」をAIに問うと、厳密には鵜呑みできませんが、関係する教科のイメージが提示されます。



次ページにて解説 ▶

分野(例)	
防災・安全	アート
環境・自然	文化・伝統・歴史・郷土
食育・農林水産	国際理解・グローバル
健康・スポーツ	平和
福祉	人権・多様性・共生
医療	キャリア・職業
科学・技術	金融・ライフデザイン
デジタル	アントレプレナーシップ(起業家教育)

4. 連携フロー（出前授業） ～ 3/9 ～

出前授業を実施するまでに、以下のようなタスクが考えられます。

①企画初期段階

②準備・調整段階

③実施段階

プログラム検討などの段階において「生成AI」の活用が有効な場合があります。

生成AI の 利用例

- 自分達が小中学校へ提供できそうなプログラム案の候補や、他社の実施例・教材例を示してもらう（例1）
- プログラムの具体的なコンテンツと時間割を提案してもらう
- 検討したプログラムが、どのような教科や単元に該当・関連するか提案してもらう（例2）
- プログラムへの関心が高まるような生徒への問いかけやクイズの出題内容を検討してもらう
- 専門用語や説明が難しい内容を小中学生でも理解できるような言葉に言い換えてもらう（例3）
- 現在のプログラムを学年・教科・形態を変えて実施する場合の変更点を検討してもらう

生成AIに入力するプロンプト(問いかけ・指示)の例

例1 「あなたは教育CSRの連携コーディネーターです。デザイン業の会社が提供できる、45分間の小学生向け出前授業のプログラムを検討してください」

例2 「(プログラムの概要を入力の上、)小中学校のどの教科・単元に関連するプログラムと言えますか」

例3 「あなたは小学校の先生です。「色校正」について、小学3年生でも理解できるように分かりやすく説明をしてください。」

生成AIを利用する際の注意点

- AIに入力されたデータが外部に流出したり、学習データとして誤って利用される可能性があります。個人情報や機密情報は入力しないようにしてください。
- 出力される情報は、正確性が担保されていません。誤った情報を、あたかも正しい情報に見えるような形で出力することがあることを理解し、内容の正確性は別途確認してください。
- 生成AIの出力結果は他社の著作権を侵害している可能性があります(特に画像生成)。そのため、第三者の著作物の一部である可能性に留意して、そのままの利用は控えてください。

4. 連携フロー（出前授業） ～ 4/9 ～

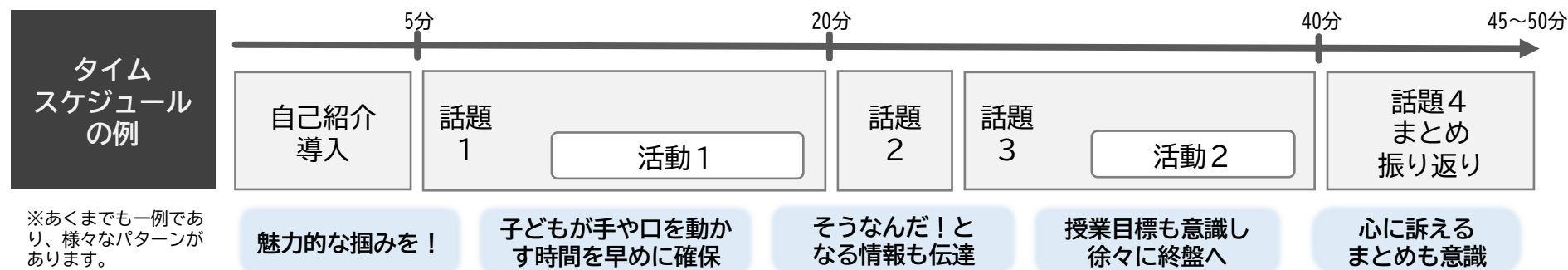
出前授業を実施するまでに、以下のようなタスクが考えられます。

①企画初期段階

②準備・調整段階

③実施段階

- 授業の長さ(時間)を確認した上で、タイムスケジュールと活動内容を定めましょう。



- 大人向けの講演・セミナーとは異なるため、取り扱う内容を精選し、伝え方も工夫しましょう。
- 開始時(学校・教員による導入)と、終了時(振り返り時間等)に、バッファの時間をどの程度設けるべきか教員と確認しましょう。
- まとめ・振り返りの問いやアンケートを、学校側・産学等側のどちらで用意・収集するか、アンケート方法が紙なのかデジタルなのか、確認しましょう。(設問例:内容を理解できましたか?、学んだことを書いてください、感じたこと・疑問・質問を書いてください 等)
- 事前の宿題、事後の宿題を設けるかどうか確認しましょう。

4. 連携フロー（出前授業） ～ 5/9 ～

出前授業を実施するまでに、以下のようなタスクが考えられます。

①企画初期段階

②準備・調整段階

③実施段階



子どもたちの学年（学習段階・発達段階）に応じて、「伝え方・資料内容」をご調整ください。

- 多くの子どもが知らない単語や、理解しにくい概念が含まれている場合があるため、事前に教員から内容の確認をしてもらえると望ましいでしょう。

子どもに
伝わりやすく
する工夫の例

- やさしい言葉に変換する
(確認する→みる 比較する→くらべる、改善策→よくするアイデア)
- 一文一文を短くして話す
(私たちは、鉄を使って車の形を作り、それをスプレーで色を塗ります。
→私たちは、鉄で車の形を作ります。そして、スプレーで白色にします。)
- 図や絵やボディランゲージも用いて伝える
(例：小学校低学年の子は%・割合の概念が分からないため、絵で伝える 等)

百聞は
一見に如かず！？

P29 参考情報
もご参照ください

- 習っていない漢字が含まれている可能性があるため、ふりがなをつけましょう。

漢字配当表(小学校学習指導要領 P42-45)

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/09/05/1384661_4_3_2.pdf

参考サイト1:「オレンジ工房」様 <https://orange-factory.com/tool/kanjicheck.html> (最終アクセス日:2025年3月21日)

参考サイト2:「家勉キッズ」様 <https://ieben.net/syou-kanji/2020gakunen-check/> (最終アクセス日:2025年3月21日)

参考サイト3:「MANABI NOTE」様 https://manabi.koyominote.com/post/kanji-search/#google_vignette (最終アクセス日:2025年3月21日)

参考サイト4:「かきかたプリントメーカー」様 https://kakikata.maripo.org/extra/grade_checker.html (最終アクセス日:2025年3月21日)

4. 連携フロー（出前授業） ～ 6/9 ～

出前授業を実施するまでに、以下のようなタスクが考えられます。

①企画初期段階

②準備・調整段階

③実施段階

- 同じテーマ・内容であっても、子どもたちの学年(学習段階・発達段階)に応じて「扱う話題のレベル・柔らかさ」を調整しましょう。

学年別 プログラム計画の基本的な考え方

小学校 1～2年生	●遊びや体験の要素を含む形での進行 (3～5分以上連続での傾聴が難しい可能性)	●視覚的・直感的な理解ができる資料・教材 (低学年ほど、抽象的な理解が難しい可能性)
小学校 3～4年生	●好奇心や行動欲を活かして、アイデアや自分らしさの表現にも配慮	●子どもの身近な話題の提示 (所属意識のある”社会”の範囲が、低学年ほど狭い可能性)
小学校 5～6年生	●物事を多面的・多角的に捉えることへの挑戦	
中学校 1～3年生	●個性探索(興味・関心・得意やあり方・生き方)に向けたヒントの提示	●道徳的な要素(自他の尊重・思いやり、命や自然を大切に、善悪・ルール・共生 等)

例えば、テーマが
同じ「水」でも…

	タイトル	内容の例
	小学校 1～2年生 水で遊ぼう！	【小学校2年生・生活】 水を用いて遊ぶことで、「水」という物質の特徴を知る。
	小学校 3～4年生 水はどこからくる？	【小学校4年生・社会】 上下水道の仕組みや森・ダム役割を知り、日常生活でできる節水策を考える。
	小学校 5～6年生 生き物と水の関係	【小学校6年生・理科】 生物と水の関わりや、水循環の概念を知り、水汚染の問題や対策を考える。
	中学生 衛生的な水を 確保するために	【中学校3年生・保健体育】安全な水とは何か、衛生的に水を管理する方法とは何かを知り、水不足が生じている日本や世界でどう生きるかを考える。

4. 連携フロー（出前授業） ～ 7/9 ～

出前授業を実施するまでに、以下のようなタスクが考えられます。

①企画初期段階

②準備・調整段階

③実施段階

□ ご自身のできる範囲や状況に応じて、以下のような工夫・点検を試みましょう。

- 講師が一方向的に話し続ける時間は長くないですか？
- 資料は、イラストや写真が効果的に使われていますか？
- 教科書に載っていないような情報は含まれていますか？
- ご自身の体験談・感情を、自分らしい言葉で伝える時間は含まれていますか？
- 考える場面、気付く場面、子どもが発言する場面が組み込まれていますか？
（例：クイズで、話し合いつつ考えてもらい、答えで気づきを得る等）
- グループワークや発表の時間を設けて、子ども同士がアイデアや意見を確認できる時間はありますか？
（子どもたちは、1人1台のタブレットを持っており、端末上でお互いの意見を見られる場合もあります。）
- 子どもの意見・アイデアに対しては、柔軟な観点で、肯定的なコメント・フィードバックを試みましょう。
- 授業後のフォローアップに協力できるかどうか、学校と相談しましょう。

（子どもたちの授業の振り返りに対するフィードバック、自社HPでの活動内容発信 等）



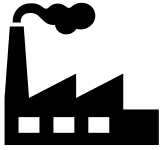
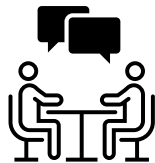
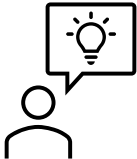
- ・区内の企業に教科書本文内容の理解を深めていただく良い機会（経験）を得られ、生徒の授業の取り組みの姿勢や目の色が変わりました。
- ・本物（一流）との出会いは、生徒の成長に大きく影響すると思います。



これまで児童に将来の夢を尋ねると「分からない」「決まっていない」「将来に夢がもてない」等と答える児童が多く、それが学習意欲低下の一因になっているように思っています。学習は、将来の夢やなりたい職業のためだけにするものではありませんが、学びへの原動力になるはずですが、（中略）たくさんの輝いている大人の姿を見せられたなら、児童の学びへの姿勢は、根本から変わっていくと考えます。子どもたちに、社会は厳しいが、実は素晴らしい世界であることを、もっと知ってほしいと考えています。

4. 連携フロー（出前授業） ～ 8/9 ～

業種毎の取り組みのイメージ

連携先	実施概要	
A 株式会社 （製造業）	タイトル:環境対策に配慮したものづくりについて 想定学年:小3～中3 想定教科:社会・技術・理科・家庭科・総合 等	 
B 商店 （小売業）	タイトル:外国人旅行者とのコミュニケーションについて 想定学年:小5～中3 想定教科:英語・総合 等	 
C 大学 （研究開発関係）	タイトル:研究活動で求められるアイデア発想のスキル・習慣 想定学年:小1～中3 想定教科:生活・図工・技術・理科・国語・総合 等	 
D 有限会社 （IT・情報系）	タイトル:こんなときどうする？ ～共生社会に必要なサービスデザイン～ 想定学年:小2～中3 想定教科:生活・総合 等	 

4. 連携フロー（出前授業） ～ 9/9 ～

お手本があるかも！？(参考文献)

文献名・コンテンツ名	URL
経団連 「企業等の教育支援プログラム ポータルサイト」	http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/kyoiku/portal/index.html
出前授業どっどこむ 「授業一覧」	https://xn--79qth430cgrf.com/
東京都 「企業・NPO等による“教育プログラム”オンライン見本市」	https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/saku/shien/R4forum/R4program.html
経済産業省 「「未来の教室」STEAMライブラリー」	https://www.steam-library.go.jp/static/media/STEAMLibraryLectureQuestions.949dc2f5.pdf

職場訪問のポイント

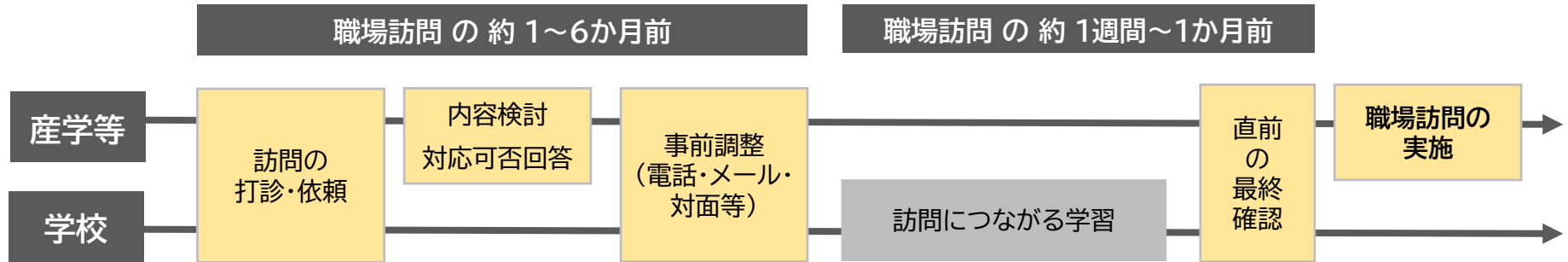
- ここまでの学習内容・学習経緯を確認しつつ、子どもたちに「見てもらいたいポイント」と「気づいてもらいたいポイント」を考えたうえで、工程を企画しましょう。
- 「働くことのやりがい・意義・価値（顧客や社会の役に立っているポイント）」について、ご自身の率直な、等身大の話を含めてみましょう。
- 話し方や、交流時間の確保といった、出前授業のコツ（P21～29）も踏まえましょう。



5. 連携フロー（職場訪問） ～ 2/6 ～



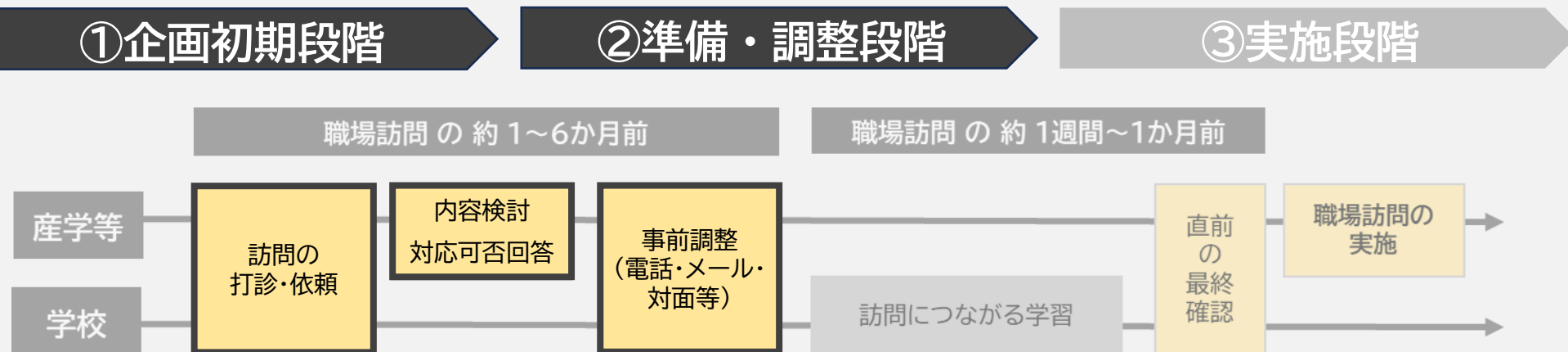
千代田区では、職場訪問を概ね以下の流れで実施しています。



- 千代田区の小・中学生が、「特定の教科」や「総合的な学習（探究）の時間」などの一環として、約50分程度、職場の見学等をさせていただきます。
- 訪問人数は、学年単位（2～4クラス）での訪問をご相談するケースもあれば、人数を絞り込んでの訪問を相談するケースもあります。
- 訪問する子どもの誘導管理などができるよう、複数名の教員が同行いたします。

5. 連携フロー（職場訪問） ～ 3/6 ～

職場訪問を実施するまでに、以下のようなタスクが考えられます。



- ☐ 実施日時と併せて、受け入れる人数、実施場所、自社の体制などを確認しましょう。
- ☐ 訪問前の学習内容や学習経緯を確認しつつ、限られた時間での訪問を前提に、どのようなことを子どもたちに、見たり感じたりしてもらうとよいか、プログラムの概要を検討しましょう。
- ☐ 自社・自組織だからこそ見てもらえるもの、伝えられるものを意識しましょう。

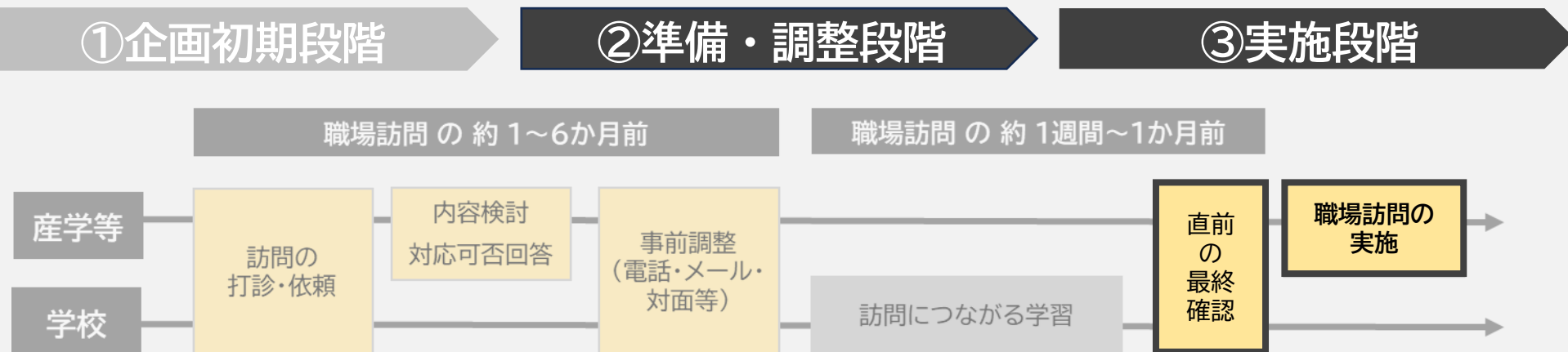


こんなこと、ぜひ教えてください。

- ☐ 他社・他組織にはない、「特徴的な製品・サービス、施設、人材」(できれば、直感的に分かりやすいもの)
 - ☐ 他社・他組織にはない、「独自の組織風土・モットー・活動」
 - ☐ 一般には知られていない「秘話・裏話・エピソード」
- 等

5. 連携フロー（職場訪問） ～ 4/6 ～

職場訪問を実施するまでに、以下のようなタスクが考えられます。



ご自身のできる範囲や状況に応じて、以下のような工夫ができないか、検討をしましょう。

- ☐ 「働くことのやりがい・意義・価値(顧客や社会の役に立っているポイント)」について、ご自身の率直な、等身大の話を含めてみましょう。
- ☐ お話の内容や単語のレベルが、子どもたちの学年(学習段階・発達段階)にとって難しすぎないか、ご配慮ください。 ※P25～26の内容もご確認ください。
- ☐ 一方的に説明が続くだけの活動になっていないか、ご確認ください。子どもたちと対話をしたり、考える時間を少し設けるなどの工夫をしてみましょう(例:クイズ) ※P27の内容もご確認ください。
- ☐ 後ろの方で見学をしている子どもたちにも、見えるよう・聞こえるよう、ご配慮をお願いします。

5. 連携フロー（職場訪問） ～ 5/6 ～

業種毎の取り組みのイメージ

連携先	実施概要
A 株式会社 （製造業）	5分：自己紹介 25分：会社紹介・工場見学 20分：座学形式での活動紹介、簡易な意見交換、まとめ
B 商店 （小売業）	20分：店舗見学、商品・サービス紹介 15分：バックヤード見学 15分：顧客観察、まとめのコメント
C 大学 （研究開発関係）	10分：導入の説明 15分：防災拠点としての大学施設見学（施設1） 15分：防災拠点としての大学施設見学（施設2） 10分：意見交換、ふりかえり
D 有限会社 （IT・情報系）	10分：会社紹介、活動紹介、作業環境紹介 5分：模擬体験の流れの説明 30分：IT業務の模擬体験 5分：ふりかえり、質疑応答

5. 連携フロー（職場訪問） ～ 6/6 ～

お手本があるかも！？(参考文献)

文献名・コンテンツ名	URL
北九州の企業人による小学校応援団事務局 (公益財団法人 北九州活性化協議会) 「活動紹介＞年度毎の実績(PDF)」	https://ouendan.gr.jp/activity/
関西キャリア教育支援協議会 「小・中・高校生「職場体験学習受入れの手引き」企業用のご案内＞小学校(職場見学)」	https://www.career-kansai.jp/data/pdf/manual/03.pdf
NPO法人 RUMアライアンス 「自動車リサイクル工場見学 工場見学受入れの手引」	https://www.recycletour.com/wanted/pdf/guidance2021pdf.pdf
福岡トヨタ自動車株式会社 「子どもお仕事参観デー プランニングガイド」	https://miraiproject.fukuoka.jp/images/guidebook.pdf?202204
特定非営利活動法人TOSS 「校外学習運営マニュアル」	https://land.toss-online.com/lesson/KfkFY9NuiwGdVJfE3xRg

6. 連携フロー（職場体験） ～ 1/6 ～

職場体験のポイント

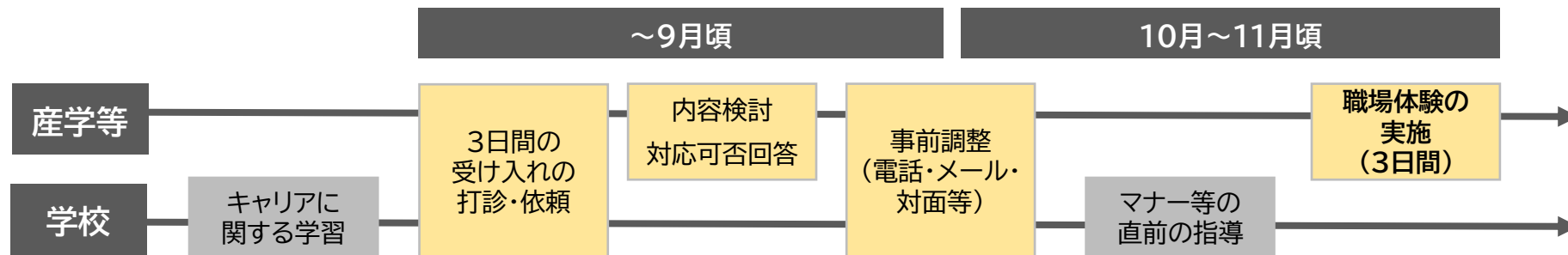
- 子どもたちは、新たに様々な興味・関心を抱く可能性があるため、可能であれば、幅広く様々な業務・仕事に触れられるプログラム設計を試みましょう。
- 受け入れる子どもたちのスキル・体力や、現時点でのキャリア感（どんな仕事に関心があるか）を考慮しつつ、作業内容を最終調整しましょう。
- 緊張している子どもも多く、あいさつなどもきっかけに、声掛けやコミュニケーションを意識しましょう。



6. 連携フロー（職場体験） ～ 2/6 ～



千代田区では、職場体験を概ね以下の流れで実施しています。



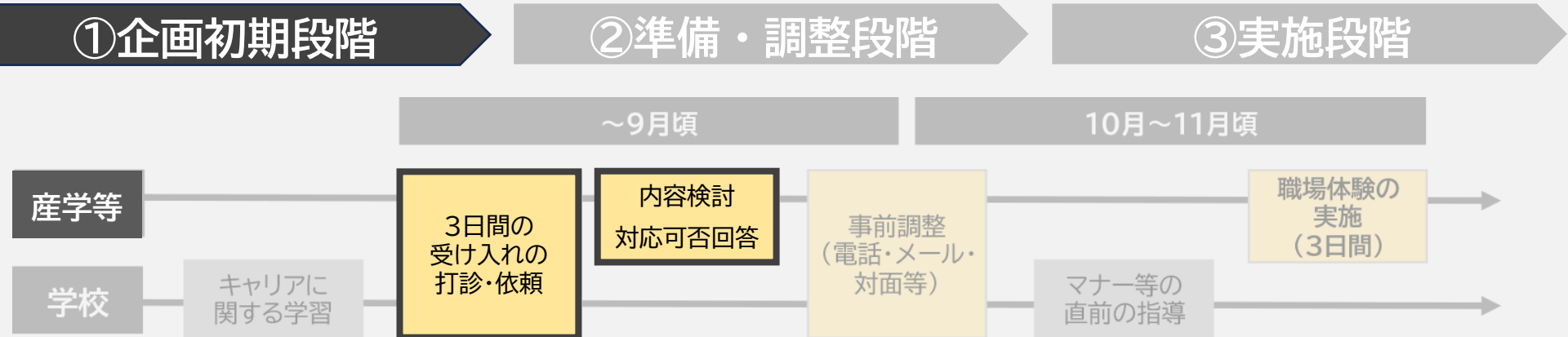
- 千代田区の職場体験においては、中学校2年生が、3日間、事業所に訪問させていただきます。
- 座学、見学、体験などを組み合わせたプログラムをご提供いただいております。（一般に、大学生向けに行われているインターンシップを、中学生向けへとより簡易にアレンジいただくイメージで構いません。）
- 企業様の受け入れ可能人数や、子どもの希望者数に応じて、1事業者様あたり概ね1～5人を受け入れていただいております。

職場体験のプログラム進行例

1日目 午前	オリエンテーション、自己紹介、職場見学
1日目 午後	体験1、終業時の振り返り
2日目 午前	始業あいさつ・本日の活動内容、体験2
2日目 午後	体験3、終業時の振り返り
3日目 午前	始業あいさつ・本日の活動内容、体験2（続）
3日目 午後	体験4、3日間の振り返り

6. 連携フロー（職場体験） ～ 3/6 ～

職場体験を実施するまでに、以下のようなタスクが考えられます。



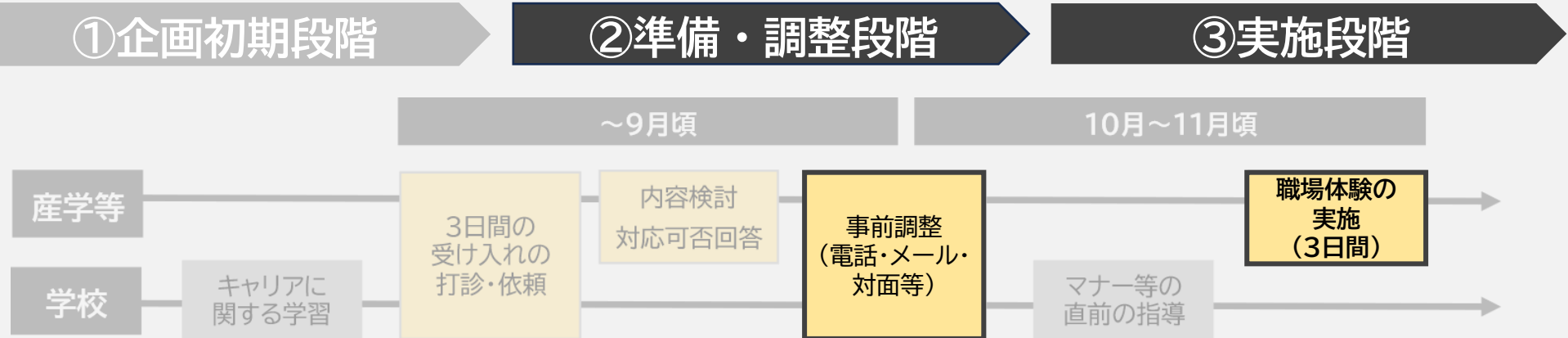
- 可能な範囲で、幅広く様々な業務・仕事に触れられると望ましく、受け入れた場合にどのような業務体験ができそうか、洗い出しをしましょう。
- 大まかなプログラムスケジュールを組みましょう。（中学校2年生が、3日間、事業所に訪問させていただきます。）
- 実施日時と併せて、自社の体制、実施場所を確認し、受け入れ可能な人数を決定しましょう。（一般には約1～5人の範囲で受け入れ。）

体験できそうな業務を多角的にご検討ください

接客・対人サービス	経営・マネジメント
営業・販売・渉外、広報	財務・会計・経理
調達・生産・製造・施工	人事・労務
企画・マーケティング	法務・コンプライアンス・CSR
研究・開発・設計	システム・情報管理

6. 連携フロー（職場体験） ～ 4/6 ～

職場体験を実施するまでに、以下のようなタスクが考えられます。



ご自身のできる範囲や状況に応じて、以下のような工夫ができないか、検討をしましょう。

- ☐ 子どもたちは、新たに様々な興味・関心を抱く可能性があるため、可能であれば、幅広く様々な業務・仕事に触れられるプログラム設計を試みましょう。
- ☐ 緊張している子どもも多く、あいさつなどもきっかけに、声掛けやコミュニケーションを意識しましょう。
- ☐ 受け入れる子どもたちのスキル・体力を考慮しつつ、作業内容を調整しましょう。
(例: いらっしゃいませの声出しはできそうだが、重たい商品の品出しは少し危ないので見送る。)
- ☐ 受け入れる子どもたちに、自己紹介をしてもらい、キャリア感(どんな仕事に関心があるか、どんなことが好きか等)を聞き取り、体験内容を微調整するヒントを得ましょう。
- ☐ 危険な作業などは、避けるようにお願いします。

6. 連携フロー（職場体験） ～ 5/6 ～

業種毎の取り組みのイメージ

連携先	実施概要
A 株式会社 （製造業）	1日目：自己紹介、執務室見学、昼礼参加、工場見学 2日目：意見交換、軽作業、昼礼参加、カイゼン活動の模擬体験 3日目：改良検討の模擬体験、昼礼参加、振り返り
B 商店 （小売業）	1日目：自己紹介、店舗見学、軽作業体験（その1） 2日目：軽作業体験（その2）、接客体験、アイデア会議 3日目：軽作業体験（その3）、接客体験、振り返り
C 大学 （研究開発関係）	1日目：自己紹介、研究室見学、大学施設見学 2日目：研究活動の模擬体験 3日目：論文発表体験、振り返り
D 有限会社 （IT・情報系）	1日目：執務室見学、IT業務の実体験 2日目：現場視察、情報ソリューション業務の模擬体験 3日目：情報ソリューション業務の模擬体験、振り返り

6. 連携フロー（職場体験） ～ 6/6 ～

お手本があるかも！？(参考文献)

文献名・コンテンツ名	URL
株式会社BFT 「BFTが中学生に向けてリアルなITに触れる機会を創出」	https://www.bfts.co.jp/news/press-release/pr-241210/
株式会社ファクトリージャングループ 「東京都千代田区内の中学生向け職場体験会の実施について」	https://factoryjapan.jp/archives/5226
田中電気株式会社 「中学生が職場体験に来てくれました！」	https://www.tanaka-denki.co.jp/20043/
株式会社アイティフォー 「2025 年度入社の内定式を開催、職場体験の中学生がサポート」	https://pdf.irpocket.com/C4743/EAzE/pA1y/zAIs.pdf
株式会社ナリカ 「2018年5月9～11日千代田区立神田一ツ橋中学校 職場体験」	https://narika.jp/csr/children-csr/houmon taiken/20185911t/
西武信用金庫 「SEIBUの地域密着ストーリー> 神田支店「中学校の職場体験学習」」	https://www.shinkin.co.jp/seibu/about/blog/article 241101 01.html
麹町中学校 「麹町中学校だより令和6年11月1日 将来を見つめて 職場体験学習始まる」	https://www.fureai-cloud.jp/view/kojimachi-j/attach/get2/5395/0
九段中等教育学校 「学校ブログ> 学校生活> 詳細> 2024/7/16 職場体験 総合的な学習の時間 2年生」	https://www.kudan.ed.jp/school/weblog/7552679?tm=20240716231410
文部科学省 「中学校職場体験ガイド」	https://www.mext.go.jp/a menu/shotou/career/05010502/026.htm

7. 連携フロー（その他の活動支援）

その他の活動支援 のポイント

- 授業的な活動を教室内外で実施いただく以外にも、学校教育の様々な場面で連携する余地があります。
- 産学等の皆様がお持ちのリソース（ヒト・モノ・情報等）について、無理なくご提供いただけるものがないか、点検いただくことで、思わぬ連携のシナリオが見いだされます。



7. 連携フロー（その他の活動支援）

その他の連携方法として、以下のような連携方法もあると考えています。

連携の観点	連携の例
ヒト (スキル・経験・情報 などの提供)	☐ 部活動(運動部・文化部)における指導者派遣、合同練習、合同イベント等 ☐ 面接練習の支援 ☐ 授業補助(例:ICT機器の使い方サポート) ☐ その他
モノ (物品提供や 施設貸与)	☐ 学習教材・コンテンツの提供 ☐ 余剰部材の提供 ☐ 試供品の提供 ☐ 会議室・研修施設・体育施設などの貸与 ☐ その他
その他	☐ 教育活動・部活動への資金面での支援 ☐ 広報活動・情報拡散への協力



7. 連携フロー（その他の活動支援）



部活動支援への支援もまた、ご検討いただけますと幸いです。
（例：小学校のマーチングバンドや、中学校・中等教育学校の部活動への
「指導者派遣」、「施設・活動場所の貸与」、「用具の提供」、「財政支援」等）

参考:千代田区における部活動の一覧(2024年11月時点)

学校名	部活動等
小学校	マーチングバンド
翹町中学校	運動部：サッカー/バスケットボール/バレーボール/硬式テニス/卓球/バドミントン/ 剣道/陸上競技/水泳/ダンス 文化部：吹奏楽/美術/家庭/パソコン/文芸/写真/日本文化/自然科学/園芸
神田一橋中学校	運動部：バスケットボール/硬式テニス/バドミントン/フットサル/陸上競技/水泳/ 文化部：吹奏楽/和太鼓/美術/家庭/茶道/百人一首
九段中等教育学校 (前期課程)	運動部：サッカー/バスケットボール/バレーボール/硬式テニス/卓球/バドミントン/ 硬式野球/剣道/陸上競技/水泳/ダンス 文化部：吹奏楽/合唱/美術/演劇/文芸/放送/書道/茶道

8. チェックシート・問合せ先（1/5）

学校との連携を企画・実行する際、以下のようにご利用ください

P1～40 基礎情報・詳細解説

これだけは押さえておきたい！

産学等と学校の連携ガイドライン

千代田区教育委員会

P1 1.はじめに
P5 2.連携のパターン
P15 3.連携の進め方
P20 4.連携フロー（出前授業）
P29 5.連携フロー（職場訪問）
P35 6.連携フロー（職場体験）
P41 7.連携フロー（その他の活動支援）
P44 8.チェックシート・問合せ先

更新履歴：Ver.1.1.1（2025年3月）

P46 共通チェックシート

8. チェックシート・問合せ先（2/5）

共通チェックシート

✓	確認事項	メモ欄
☐	日程・時間帯、場所、対象学年、クラス数、子どもの人数について	
☐	実施目的・学ばせたいこと・教員や学校の想いについて	
☐	連携する際のテーマ、内容について	
☐	ここまで何を学んできたのか、どんな活動をしてきたのかについて	
☐	事前・当日の、双方の人員体制について	
☐	会場にある設備・機器について、持ち込むべき設備・機器について	
☐	資料の送付タイミング、配布方法について	
☐	緊急連絡先を含めた、連絡方法について	
☐	訪問方法・移動方法、駐車場有無、待ち合わせ場所について	
☐	実施した活動情報の取扱いについて（例：活動写真のHP掲載可否等）	
☐	その他（ ）	

45

P47 ブラッシュアップ用チェックシート

8. チェックシート・問合せ先（3/5）

出前授業（や職場訪問）のブラッシュアップ用チェックシート

✓	点検事項
☐	講師が一方的に話し続ける時間は長くないですか？
☐	難しい単語や、理解しにくい概念が含まれていませんか？
☐	習っていない漢字が含まれる可能性がある場合、ふりがなをつけていますか？
☐	資料は、イラストや写真が効果的に使われていますか？
☐	教科書に載っていないような情報は含まれていますか？
☐	ご自身の体験談・感情を、自分らしい言葉で伝える時間は含まれていますか？
☐	考える場面、気付き場面、子どもが発言する場面が組み込まれていますか？ （例：クイズで、話し合いつつ考えてもらい、答えで気づきを得る等）
☐	グループワークや発表の時間を設けて、子ども同士がアイデアや意見を確認できる時間はありますか？ （子どもたちは、1人1台のタブレットを持っており、端末上でお互いの意見を見られる場合もあります。）
☐	子どもの意見・アイデアに対しては、柔軟な観点で、肯定的なコメント・フィードバックを試みましょう。
☐	活動後のフォローアップに協力できるかどうか、学校と相談しましょう。 （子どもたちの授業の振り返りに対するフィードバック、自社HPでの活動内容発信 等）

46

- ・ まずは、基礎情報のページ（P1～19）をご覧ください。
 - ・ 次に、関係する連携類型の詳細解説ページ（P20～44）をご覧ください。
 - ・ 文章冒頭の「□」のついている箇所に、それぞれ「✓（チェック）」を入れつつ読み進めてください。
- ・ 4つの連携類型に概ね共通する事前のチェックポイントを用意しました。
 - ・ 「初回の連絡時や打合せ」の際などにご利用ください。
- ・ 主に
出前授業や職場訪問のシーンを想定し、プログラム内容をブラッシュアップするためのチェックポイントを用意しました。
 - ・ 「企画時や、実施日が近づいてきて最終調整をする場面」などにご利用ください。

8. チェックシート・問合せ先（2/5）

共通チェックシート

✓	確認事項	メモ欄
☐	日程・時間帯、場所、対象学年、クラス数、子どもの人数について	
☐	実施目的・学ばせたいこと・教員や学校の想いについて	
☐	連携する際のテーマ、内容について	
☐	ここまで何を学んできたのか、どんな活動をしてきたのかについて	
☐	事前・当日の、双方の人員体制について	
☐	会場にある設備・機器について、持ち込むべき設備・機器について	
☐	資料の送付タイミング、配布方法について	
☐	緊急連絡先を含めた、連絡方法について	
☐	訪問方法・移動方法、駐車場有無、待ち合わせ場所について	
☐	実施した活動情報の取扱いについて（例：活動写真のHP掲載可否等）	
☐	その他（ ）	

8. チェックシート・問合せ先（3/5）

出前授業（や職場訪問）のブラッシュアップ用チェックシート

✓	点検事項
☐	講師が一方向的に話し続ける時間は長くないですか？
☐	難しい単語や、理解しにくい概念が含まれていませんか？
☐	習っていない漢字が含まれる可能性がある場合、ふりがなをつけていますか？
☐	資料は、イラストや写真が効果的に使われていますか？
☐	教科書に載っていないような情報は含まれていますか？
☐	ご自身の体験談・感情を、自分らしい言葉で伝える時間は含まれていますか？
☐	考える場面、気付く場面、子どもが発言する場面が組み込まれていますか？ （例：クイズで、話し合いつつ考えてもらい、答えで気づきを得る等）
☐	グループワークや発表の時間を設けて、子ども同士がアイデアや意見を確認できる時間はありますか？ （子どもたちは、1人1台のタブレットを持っており、端末上でお互いの意見を見られる場合もあります。）
☐	子どもの意見・アイデアに対しては、柔軟な観点で、肯定的なコメント・フィードバックを試みましょう。
☐	活動後のフォローアップに協力できるかどうか、学校と相談しましょう。 （子どもたちの授業の振り返りに対するフィードバック、自社HPでの活動内容発信 等）

8. チェックシート・問合せ先（4/5）

プログラムの設計シート（主に出席授業・職場訪問での利用を想定）

タイトル	
学んで もらいた いこと	知識： 気づいてもらいたいこと：
時間配分	活動内容
導入 (分)	・ ・ ・
展開1 (分)	・ ・ ・
展開2 (分)	・ ・ ・
まとめ (分)	・ ・ ・

※起承転結や場面転換に関わる「発言や子どもたちへの投げかけ」、「子どものワーク・活動」も記述に含め、目印をつけておくとブラッシュアップに役立ちます。

8. チェックシート・問合せ先 (5/5)

問い合わせ先	連絡先
千代田区 教育委員会事務局	住 所：〒102-8688 東京都 千代田区九段南 1-2-1 千代田区 教育委員会事務局 子ども部 子ども総務課 教育政策担当 メール：kyouikuseisaku-tantou@city.chiyoda.lg.jp 電 話：03-5211-3596
千代田区立の 小学校・中学校・ 中等教育学校	学校一覧のURLに記載の連絡先をご利用ください。 https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kosodate/kyoikukatsudo/gakkoshokai.html 
産学等連携 コーディネーター	合同会社 STERAUM（ステラウム） 中間 貴恵 メール：takae@steraum.com

